

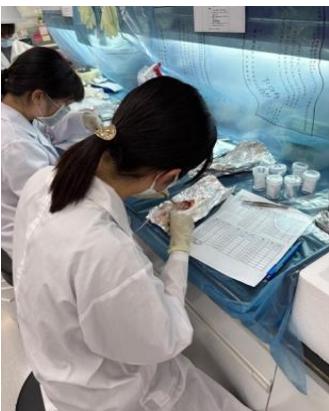
## 台北医学大学保健栄養学系での研究者交流

2025年10月29日から12月5日の40日間、台北医学大学保健栄養学系にて「食と農免疫国際特別教育プログラム」による短期留学を行い、動物および細胞実験の多様な手法を学びました。動物実験では、アルコール性肝疾患モデルラット等を用い、試験飼料の調製から飼育・解剖に至る一連の工程を経験しました。細胞実験では、顆粒膜細胞による老化モデルの作製と評価に取り組み、所属研究室とは異なるアプローチを習得しました。また、毎週月曜日には大学院生による論文紹介の授業に参加し、英語による学生同士の活発な議論に刺激を受けました。

日常生活では、現地学生との交流を通じて日々の生活習慣やキャリア観について意見交換を行い、自分にはない視点や価値観に触れることで、多様な背景を持つ人々への理解を深める貴重な経験となりました。

本留学は短期間でしたが、研究手法のみならず文化や思考の差異を肌で感じる貴重な機会となりました。この経験を今後の研究活動や将来の指針として大いに活かしていきたいと考えています。最後に、楊素卿教授をはじめ、台北医学大学および食と農免疫国際教育研究センターの関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

(文：東北大学農学研究科 農芸化学専攻 栄養学分野 博士課程前期1年 佐久間 結  
博士課程前期1年 丸山 凜)



左上：ラット解剖 上中央：細胞実験 右上：ウエスタンブロッティング 左下：学生との食事会 右下：送別会